

マーク概要

対 = 対象 (特記ない場合、どなたでも) 日 = 日時・日程 場 = 会場 講 = 講師 費 = 費用 (特記ない場合、無料)
他 = ほかの情報 (「保育可」は生後5か月以上で首がすわっている子〜未就学児が対象) 申 = 申込方法 (特記ない場合、発行日時時点で申込可) 問 = 問合せ先 区HPQ 00000 = 区のホームページの検索メニュー ページIDから探すへ
番号入力でページを表示 世 = 要件を満たすとせたがやPayのポイントがもらえます



区の手続きや施設・イベント案内は **せたがやコール** (午前8時〜午後9時 年中無休)
☎03-5432-3333 FAX 03-5432-3100 ●問合せフォーム 区HPQ 25858

世田谷区

認知症とともに生きる

希望条例

認知症になってからも、希望を持って安心して暮らし続けることができるまちを目指すための条例です。その実現に向けて、区は「認知症に対する考え方を变えること」を大切にしています。

認知症を「何もわからなくなってしまうもの」として捉えるのではなく、認知症になってからも、その人らしく暮らし続けられる存在として考えること。

こうした新しい認知症観への転換が、安心して暮らせる地域づくりにつながると考え、様々な取組みを展開しています。

新しい認知症観へ

Change

チェンジ

古いイメージ

× 何もできない
× 支えられるだけ
× 家にいるしかない

新しいイメージ

○ できることがある
○ 地域の一員
○ 希望をもって暮らせる

Action

アクション

アクションチームに
参加してみませんか

アクションチームは、認知症のあるご本人と地域の方が集まり、住み慣れたまちで暮らし続けるために、できることを考え、行動している取組みです。

認知症があっても、地域の一員として活躍する姿が身近なまちの中で生まれています。

- 池尻地区「にんにん会」
- 寄付された廃材を活用した積み木削りに取り組んでいます。手を動かしていると自然と会話が生まれ、完成した積み木は、地域の子どもたちへ届けられます。



- 若林地区「孔雀のサロン」健康麻雀
- 新代田地区「新代田えがお美まもりたい」俳句ワークショップ

自分らしく暮らせる取組みを認知症在宅生活サポートセンターのホームページで紹介しています▶



Interview

インタビュー



ケアマネジャー
太田さん

認知症ご本人
清水さん



忘れちゃうことは結構ありますけど、消えちゃうから怖くないんです。まあ、消えたら消えたで「いいや」って思えるようになりました。

それに、ケアマネジャーさんのことは普段から信頼していて、何かすすめられると「やってみようかな」って思えるんですね。認知症として大変な時期もあったわけですが、今は日々の暮らしが以前より落ち着いています。

NHK全国俳句大会で秀作を受賞されました

デイサービスや一般的な地域の集まりが合わず、行き場が見つからなくて悩んでいる認知症のご本人やご家族を、これまで多く見てきました。

何かを一緒にしながらだと自然に会話が生まれ、楽しさを感じられる場になっていると思います。

こうした時間を重ねる中で、人とのつながりが生まれています。認知症のご本人が、地域と社会につながることは、大きな支えになると実感しています。

ケアマネジャー
佐藤さん



認知症月間イベント

認知症とともにすこやかに暮らす

- 日にち 9月26日(土)
- 会場 保健医療福祉総合プラザ
- 内容 ①午後2時〜3時15分 認知症講演会「高齢者の睡眠と認知症」
②午後1時〜4時 アクションチーム展示
③午後3時15分〜4時30分 もの忘れ相談
※①の申込方法等は本紙8月15日号でご案内する予定です。②③は当日会場へ。

認知症に関する情報を掲載した冊子をあんしんすこやかセンターなどで配布しています。

認知症在宅生活サポートセンターのホームページからご覧になれます▶

